

# 「井戸」一斉学習③

フウとためいきをついての追求

「丑はなぜ、何も言い返さなかったのか」という問題について、前の時間みんなから出ていた意見は次の3つだった。

- ①がまんしている。
- ②言ってもむだ
- ③自分であきらめている。

話し合いに入る前にもう一度自分の考えを文章に返って考えさせる。

T じゃ、手をあげてもらおうか。

①の人……3人

②の人……15人

③の人……9人

じゃ、①の人から聞いていこう。安田君から。

裕幸 ここはな、いやといってもな、楽になることじゃないやん。なまいきな、とかいって、もったきついことやられるかもわからん。ほんで、ぐつとがまんしている。

T 言い返すと、もったきついに会うかもわからんということ。……それどこかわかるどころある？

裕幸 前の勉強の時、丑を馬鹿にしているようにみんないうてたやん。だから、言い返しても、「なまいきな」て、もったきついことやられるみたい。ほんで、

保「フウとためいきをつけてさまたいぎそうに」てかいたるでな、フウとためいきをつけて、なんかがまんしているみたいに ためいきですましているだけやで。

浩生 水くみ専門にきまったでな、かなんいうたらいじめられる。

T ゆうたらいじめられるからね。

じゃ、②の人

真人 あの、井戸に入るときな、だれかが丑がいていわったやろ。ほのとき 丑がぶつぶついつたで、ほんときいってもむだやから、自分がやらされるから

T おまえは、後の方から考えてるの？できればこの場面で考えて欲しい。志穂

志穂……

T きちんと言えなくてもいい。お前は、がまんしているというふうには考えないんでしょ。

志穂 また言い返されるで、言ってもむだ。

T どうせ言うてもあかん。

明子は？

明子 ①か②かわからん。

智子 うんと、「丑は、うでがしびれて一つ汲むのにも幾度も中休みしなければならなかった」てな、こんなに一生懸命やっているのに、他の当番のひとたちは、バケツを放り出したり、馬鹿にしているでなこんなに馬鹿にされているおれがいつでも言うことを聞いてくれないという気持ちで。

T みんなから馬鹿にされている状況からのがれようがないから、もうあきらめている。

他に、②の人 貞幸

貞幸 いうたらな、……な、みんなはちゃんと聞いてへんしな、言うてもきかん。

T 他の人もそれでいい？(②の意見の子に)

真人 自分より強いで。

T じゃ、③の人言うて。

亜紀子 えつとな、丑がな、いすとかつくえとかならべたりしてたら、他の当番がやりなおしさせられて他の当番がいやがって、ほんでめいわくかけてるさかい、井戸の役目しかないと思っている。

C いっしょ

智士 自分でこれしかもうやるそうじはないとおもってるの。

善崇 うんとな、がんばってても自分で一生懸命やってても、何回きちんとやってもえがんだりしてるさかいな、もうやっぱし、このそうじしかない、と自分でおもってるの。

T 善崇がいつてるとこ、わかる？見て。

「丑のふいたろうかは、しまになってちつともきれいに光らないし、丑の並べたいすやつくえは、不思議なほどきつとゆがんでいた。」

どんだけいっしょけんめいにやっても

力 ぜったいにえがむ。

T ぜったいにえがむし、ぜったいにきれいに光らないんですね。そういう自分だから、この水くみもしかたがない。文句言われてもしかたがない。ということね。

勇也 「丑は、たれかかった鼻汁を袖口でひっこすって、フウとためいきをつけて、さもたいぎそうにまたガラガラとつるべをくりおろすのだった」てかいたるやん。ほんで、みんなに言われてるのになまた、なんかあきらめてるようにな、自分でしゃあないわという感じで、つるべをおろしている。

T 勇也、大事なこと言ったね。「また」

もし、ここで、くやしさがあつたら、「なんじやい」てすてばちになるのに、丑は、また、言われたとおりしている。

力 ヨッチとだいたいいっしょでな、丑はどんだけそうじをがんばってもな、ふつうやったらがんばったらちやんとできるけどな、この丑はがんばってもな、きつとゆがんでたやん。ほんで、「なんで、おれは、こんなこととがちやんとできひんのやろ」てな、

あきらめてる。

T ああ、人に対しておこっているというより、

勇也 自分の心におこっている。

和幸 自分が情けない。

大輔 「フウとためいき」てな、もう、自分に自信をなくしてる。もう、そうじのときでも、どんだけやつてもえがんでるんやさかいな、だからな、みんなからいややされてるから、自分がいやになつてくる

T ほうすると、今3つの意見が出ましたね。さあ、これを聞いててみんなは、どう？

弘子 ……

T 何番？

弘子 ②

暢子 ③のように思う

T 先生聞いててね、整理すると

こういうことになると思うんやで。

「がまん」というのは、丑の心の中に、くやしいとか、にくたらしいという気もちがあるわけですね。それをがまんしているわけですよ。

②の人も、くやしい気持ちはあるわけだけど、いうのがめんどくさい。

③は、そういうくやしい気持ちはない。

さあ、どうなんでしょう。このとき、にくたらしいとか、しかえししたいとかいう気もちがあつたんでしようか、なかつたのか。

C s ……

T 「フウとためいき」の姿をどう見るかが問題だ。保は、がまんしている姿に見えるという。大輔は自分に自信をなくしてあきらめてる姿だという。もういっぺん読んでみるよ。ここの姿を思い浮かべて下さい。

朗読

力 自信なくしている姿に見える

裕幸 もう必死でやってるで、ほういうのを無視してる。

T あんまりえらくて考える気力もない？

他の人どう。

美豊子 丑は、不器用だから、(きこえない)

力 しようがないというてる。

佐夜子 みんなにまかされてるからいやといえない。

T さっきのことをむしかえすようだけど、この丑の姿は、がまんしているように見えるか、なにもかもあきらめているように見えるか、どうですか。

勇也 丑は不器用やで、こんだけしたらいいとおもってる。

T 留美どう

留美……

裕幸 無視してる。

T 自分たちの場合、どんな時にためいきつくか、て考えてみればいい。  
くやくてたまらないときためいきってつく？

C いやなとき。

えらいとき、

考えてる時

T それから、がっかりしたとき。テストをかえしてもらったら、0点だったときなんかね。

そういうふうになると、くやしきもあつたかもしれないけど、自分であきらめているということがあるんじゃないだろうか。

力 自分で自分が情けない。

T そう、だから、勇也が言ってるように、またがらとつるべをくりおろしていく。

ここで、話し合いの結果自分の考えをもう一度書いてみる。

・私は②だったけど、善崇君のをきいたら、③にかえた。私も丑がふいた廊下はしまになって、丑のならべた机や椅子はきつとゆがんでいるし、先生にいつもやりなおしをさせられているから、もう自分には水汲みしかないと思ってる。 八橋和美

・②だったけど、よっちゃんや、ゆうやくんの意見を聞いて③に変わった。「またがらと」とかいてあるから、仕事をしたってやり直しをさせられるし、いやだな、と思ってまたやらないし、「ためいき」のところは、重いけど、やっぱりだめだな、とあきらめている。 美希

・丑は、力が強いので、しかえししようと思ったたらできたと思うから、がまんしてたんはしてたんだけど、こわくてがまんしてたんじゃないと思う。 幸則

・ぼくははじめがまんと思っていた。みんなの話を聞いているとちがうかなあと思うけれど、「さもたいぎそうに」というところがひっかかる。 保

・やっぱり③だと思った。もしくはやしかったら空のバケツをけとばしたり、さもたいぎそうにガラガラとつるべなんかおろさなと思う。 亜紀子

・ぼくは、「フウとためいき」のところは、なやんでいる気持ちと思う。 浩生

・ぼくは①も少しあるが、やっぱり言っても不器用ということ言われるから、あきらめている。①②③全部まじっている気もする。 裕幸

・もしか、丑が「いや」というと、「水ぶきするか」とかいわれると、丑はできないから、丑はもうあきらめている。 留美

・何か、自分は気が弱くて、自分が文句を言えなくて  
そうゆう自分が情けないから、もうあきらめている

哲郎

・わたしは②だけど、ゆうや君が「また」というところを発表して、わたしは③と思ったけど、②もただししいような感じがする。

・ぼくはがまんだと思う。「さもたいぎそうに」と書いてあるから、さもたいぎそうにという意味は、じゃまくさいという意味だから、じゃまくさいけど、丑はがまんしていると思う。